31 Power doppler 観察下 Vacuum-assisted Breast Biopsy System による乳腺生検法

長内孝之, 市川 度, 仁瓶善郎, 杉原健一 (東京医科歯科大第2外科),
五味直哉, 脇田俊彦 (東京医科歯科大放射線科)

〔はじめに〕 Vacuum-assisted Breast Biopsy System (以下 Mammotome) は, 持続吸引システムと回転刃により1回の穿刺で複数本の標本採取が可能な装置である。しかし, 穿刺針が11Gと太いため, 検査後の出血が懸念されており, 対策が求められている。

〔目的〕 カラードップラー観察下 Mammotome 検査の後出血予防に対する有用性を検討する。

〔適応〕 1) 画像診断で癌を強く疑うが, USガイド下 core needle biopsy にて確定診断が得られない症例, 2) 画像診断では良性が示唆され core needle biopsy でも良性所見であり, 経過観察中に増大傾向や形状の変化を伴う症例, 3) 腫瘍径が5mm以下と小さく core needle biopsy では穿刺が不確実となり得る症例を適応と, 1998年12月から1999年12月までの連続20例を対象とした。

〔検討項目〕 Mammotome 検査開始前, 麻酔直後, 生検中, 生検直後の腫瘍周囲の血流変化を検討した。

〔手技〕 麻酔剤にはアドレナリン加 lidocaine を用い, 穿刺径路および腫瘍直下に注入した。麻酔針および Mammotome 針刺入径路は検査前に動脈を回避できる径路を選択した。

〔結果〕 全症例で麻酔前に腫瘍に流入する動脈を認めた。麻酔剤注入直後より動脈血流が確認できなくなった。また, 生検中および生検直後において動脈血流再開は確認できなかった。検査後の経過では, 穿刺部位周囲に薄い出血斑を5例に認めたが, 血腫ドレナージを要した例はなかった。

〔まとめ〕 カラードップラー観察下 Mammotome 検査は, 出血を回避する目的で有用であると考えられた。

32 医療材料商品コード・バーコードの導入意識とその利用意識に関する調査研究

酒井順哉 (名城大), 土屋文人 (東京大), 武田 裕 (大阪大), 岡部隆行 (労働福祉事業団), 織田幹雄 (日本文化厚生農業協同組合連合会), 松山文治 (甲南病院), 佐々木哲明 (医療情報システム開発センター), 田尻 裕 (日本医療器材協会), 長沼重朝, 中村重郎 (日本医科器械商工団体連合会), 富木誠一, 八巻右元 (日本医療機器販売業協会), 三城正紘 (日本医療機器関係団体協議会), 生田 敦 (日本製薬工業協会), 大沼憲一 (日本医薬品卸業連合会), 黒沢康雄 (流通システム開発センター)

製造/輸入販売業者, 卸/販売業者, 医療機関における医療材料の迅速かつ正確な物流および戦略的経営の実現を目指して, 日本医療機器関係団体協議会は1999年9月に「医療材料商品コード・バーコード標準化ガイドライン」を策定した。

今回, われわれは医療材料の製造/輸入販売業者 (主要な365社), 卸/販売業者 (主要な284社), 一般病床300床以上の医療機関 (1,057施設) を対象に医療材料の商品コード・バーコードの実態とともに, ガイドライン発表1カ月後における医療材料の商品コード・バーコードの利用意識に関するアンケート調査を1999年10月に行った。アンケートの有効回答数は, 製造/輸入販売業者が92社, 卸/販売業者が65社, 医療機関が179施設であった。

製造/輸入販売業者, 卸/販売業者, 医療機関における医療材料商品コード・バーコード標準化ガイドラインの周知およびガイドライン策定の期待について分析した結果, 次のような傾向が明確となった。

1) ガイドラインの策定について, 製造/輸入販売業者および卸/販売業者の過半数が周知していたが, 医療機関にはこの情報が十分把握されていない現状にあった。

2) 製造/輸入販売業者において医療材料をJANで登録する意識は, 登録予定が28社 (40.6%), 登録予定なしが5社 (7.2%), 現状で未定が36社 (52.2%) である一方, EAN-128によるバーコード表示の意識は, 登録予定が29社 (46.8%), 登録予定なしが6社 (9.7%), 現状で未定が27社 (43.5%) であった。

3) 卸/販売業者および医療機関において製造/輸入販売業者が登録したJANの利用意識は, 卸/販売業者の43社 (66.2%), 医療機関の57施設 (32.0%) である一方, EAN-128で表示したバーコードの利用意識は, 卸/販売業者の37社 (60.7%), 医療機関の36施設 (20.9%) であったが, 他の大部分は現状では未定の回答であった。